

臨床研究に関する情報公開

「当科における膵・消化管神経内分泌腫瘍切除例の検討」へのご協力をお願い

当院の研究責任者

外科 田端正己

他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

研究の対象

2010年1月～松阪中央総合病院で膵および消化管神経内分泌腫瘍の切除術を受けられた方

研究目的・方法

神経内分泌腫瘍 neuroendocrine tumor (NET) は神経内分泌細胞に由来する腫瘍の総称で、全身のさまざまな臓器に発生しますが、本邦では膵臓や直腸や胃などの消化器および肺に多いとされています。NETは希少がんのひとつですが、消化管NETの有病患者数は2005年から2010年までの5年間で、3.45人/年から6.42人/年へ（人口10万人当たり）、膵NETの有病患者数は2.23人/年から2.69人/年へと増加しています。また、NETは2010年のWHO分類では核分裂数やKi-67指数によりNET G1、NET G2と神経内分泌癌 neuroendocrine carcinoma (NEC) とに大別され、悪性度が明確化されました。そこで、当科で経験した膵・消化管NETの悪性度や手術術式および治療成績を解析し、その治療方針について検討するのが本研究の目的です。

研究に用いる試料・情報の種類

検査所見やカルテ記載、病理組織所見等の診療情報

外部への試料・情報の提供

ありません

個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません

お問い合わせ先

0598-21-5252 田端正己